



VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com



はやし ふみこ 林 文子 プロフィール

1946年 東京都生まれ
 1965年 都立青山高校卒業
 1965～ 東洋レーヨン株式会社(現東レ)、
 1976年 松下電器産業株式会社(現パナソニック)等勤務
 1977年 ホンダオート横浜株式会社入社後、ホンダクリオ神奈川北
 株式会社に転じる
 1987年 BMW 株式会社東京事業部(現 BMW 東京)入社
 1993年 BMW 東京株式会社 新宿支店長
 1998年 同社 中央支店長
 1999年 ファーレン東京株式会社 (現フォルクスワーゲンジャパン
 販売株式会社)代表取締役社長
 2003年 BMW 東京株式会社 代表取締役社長
 2005年 株式会社タイエー代表取締役会長兼 CEO
 2008年 日産自動車株式会社 執行役員
 東京日産自動車販売株式会社 代表取締役社長
 2009年 横浜市長
 2013年 横浜市長(2期目)

推薦の決定に際して、公明党横浜市会議
 員団からの提案や要望への取り組み状況な
 どを検証しました。
 その結果、小児医療費助成の拡充や市立
 中学校昼食「ハマ弁」の全校実施をはじめ、
 防災・減災対策、高齢・障がい者福祉の推
 進など、公明党市会議団の提案や要望が実
 施または実施の方向で検討されていること
 がわかりました。
 今回の推薦にあたっては、8分野からなる
 政策協定を結び、その実現に向けて取り
 組んでいくことを互いに確認しました。

- 【政策協定 8つの分野】
- ① 災害に強いまち・ひと・地域づくり
 - ② 子育て支援と教育の充実
 - ③ 医療と福祉の充実
 - ④ 横浜経済の活性化・雇用の促進
 - ⑤ 文化・芸術・観光施策の推進
 - ⑥ 都市基盤整備の推進
 - ⑦ 環境施策の推進
 - ⑧ 行財政改革の推進

《7月16日告示、7月30日投開票》

横浜市長選挙で 林文子市長を推薦

「公明党提案の政策実現」を高く評価！



林文子市長に推薦状を手渡す公明党市議団

平成30年度 予算編成に向け 各種団体との政策懇談会を開催



公明党市議団と市民団体や業界団体代表の意見交換の場である「政策懇談会」を開催しました。参加した33の団体から寄せられた様々な要望や提案は、来年度の予算要望に反映するほか、市議団の今後の施策に活かします。(6月12日～16日)

日々の政務活動から

学校施設へ夜間照明の設置を

夜間照明施設の設置が進む静岡市の学校を視察しました。市立小中学校の90%にあたる121校で設置され、年間約47万人が利用しています。地域スポーツだけでなく、消防団の訓練や熱中症対策としての夜間グラウンドゴルフなど、夜間照明の役割を担っています。横浜市は、オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした地域スポーツのレガシー遺産として、夜間照明の設置推進に取組みます。(4月12日)



市立城北小学校での照明設置状況等を確認

横浜港の国際競争力強化へ

国際競争力強化のため整備を進める日本最大のコンテナターミナルの南本牧ふ頭や山下ふ頭などを視察すると共に、大さん橋では、クルーズ船の誘致促進について港関係者と意見交換を行いました。国と横浜市が一体となり組みを加速します。(5月8日)



横浜市内にある

国際機関との連携

国連食糧農業機関(FAO) 食糧事情の改善を通じて、世界経済の発展や飢餓からの解放を目指す国連専門機関であるFAOのポリコ所長と食品ロス削減について意見交換を行いました。今回の訪問を機に、FAOと連携し、食品ロス削減やフードバンク等の取組みを進めます。(4月4日)

国際熱帯木材機関(ITTO)

国際熱帯木材協定に基づいて設立された国際機関であるITTOの新事務局長ゲルハルト・デイトレ氏を表敬訪問。市議団は、環境施策の意見交換や横浜市の環境教育プログラムへの取組推進など、ITTOとの連携を進めています。(5月31日)



公明党市議団が提案し 実現した中学校昼食「ハマ弁」



本年1月より、全市立中学校において、栄養バランスのとれた温もりのある「ハマ弁」と「家庭弁当」のどちらも選択できる昼食の環境が整いました。公明党市議団は、平成3年度から中学校昼食の改善に取り組み、スクールランチ方式の昼食を提案し、「ハマ弁」として実現しました。今後、さらなる充実をめざします。

<ハマ弁>

1. メインのおかずを2種類から選べます。
2. ご飯の量を選べます。
3. ご飯と汁物が温かい状態で提供されます。
4. ご飯・おかず・汁物セットで390円です。



- 汁物と牛乳は単品で注文できます。
- 事業者が作成した献立を、教育委員会の栄養士が管理します。
- 注文はパソコンやスマートフォンからできます。お支払いはクレジット、コンビニ端末又はファクスでの事前決済となります。学校で現金のやり取りはありません。

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。新しい構成により議会がスタート

 ● 国際・経済・港務委員会 ● 大都市行政財政制度特別委員会 副委員長	 ● こども青少年教育委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進 特別委員会 委員長	 ● こども青少年教育委員会委員長 ● 観光・創造都市・国際戦略 特別委員会 市会運営委員兼理事	 ● 健康福祉・医療委員会 副委員長	 ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 大都市行政財政制度特別委員会 副委員長	 ● 温暖化対策・環境創造 資源循環委員会 特別委員長	 ● 建設・都市整備・道路委員会 副委員長	 ● 政策・総務・財政委員会 ● 基地対策特別委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療 広域連合議員 副委員長
 ● 健康福祉・医療委員会 ● 減災対策推進特別委員会 副委員長	 ● 水道・交通委員会副委員長 ● 減災対策推進特別委員会 副委員長	 ● 建設・都市整備・道路委員会 ● 観光・創造都市・国際戦略 特別委員会 市会運営委員	 ● 市民・文化観光・消防委員会 委員長	 ● 政策・総務・財政委員会 副委員長	 ● 水道・交通委員会 ● 大都市行政財政制度特別委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療 広域連合議員	 ● 国際・経済・港務委員会 ● 減災対策推進特別委員会 ● 神奈川県内広域水道企業団 議会議員	 ● 温暖化対策・環境創造 資源循環委員会 基地対策特別委員会

平成29年第2回定例会の論戦から

議案関連質疑

「横浜サポーターズ寄附金」の周知について

横浜版ふるさと納税の「横浜サポーターズ寄附金」は、今年度から9つの寄附メニューを追加し、全部で19の寄附メニューに拡充しています。横浜市は、いたずらに返礼品競争に加わることなく、市営バスの「みなとぶらりチケットワイド」や「動物園の共通パスポート」などをお返しすることで横浜の魅力や事業の成果を知っていただくよう工夫しています。こうした横浜サポーターズ寄附金の新たな仕組みをさらに周知する必要があると訴えました。

林市長は、市のトップページにバナーを設け、寄附の活用報告などをきめ細かく掲載すること。また、主要な観光施設やターミナル駅でのリーフレット配布、電車内広告など広報の充実に取り組み、市外の方にも広く周知すると答弁しました。

横浜スタジアムの増席・改修に係る条例改正について

(株)横浜スタジアムが6000席の増席やバリアフリー対応のエレベーター設置、回遊デッキの建設などを行い横浜市に寄付した上、今後40年間管理を行う等の横浜スタジアムの増席・改修に係る条例改正に関連して質問しました。野球場以外の公園利用者への配慮、公園内で行われるイベントへの影響について質すとともに、スタジアムの増築が関内の街並み形成に寄与するよう求めました。



公明党横浜市会議員団 団長

高橋 正治

市長は、回遊デッキが設置されることで、公園利用者全体の安全性・利便性が向上すること、増築するスタンドや回遊デッキの下は、イベント時にも活用できるなど公園利用者に配慮した計画となっていると答弁しました。また、街並みの連続性を意識して色彩や形状も工夫し、関内地区にふさわしい象徴的施設にすると表明しました。

一般質問

身近にスポーツを行える場の確保について

地域の皆様からいただくご要望の1つに、地域でスポーツを行える場の確保があります。3年後に控える「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」は、世界の注目が横浜に集まるとともに、スポーツの裾野を広げる絶好の機会でもあります。また、スポーツ基本法では、地方公共団体に対し、学校のスポーツ施設の改修や照明施設の設置などを求めています。

そこで、身近にスポーツを行える場の確保として、学校グラウンドへの夜間照明の設置を推進するべきと質しました。

岡田教育長は、スポーツを行える場の確保は、大変重要との認識を示した上で、学校の夜間照明設備は、オリンピックを契機に、関係局と連携し条件を整備して、設置の検討を進めていくと答弁しました。



犯罪被害者等支援について

犯罪による被害の危険は他人事ではありません。被害者が、突然の事態に巻き込まれ、混乱や動揺の避けられない中でも、支援につながるためには、より広く支援制度やその手続きなどが周知されることも重要です。横浜市では、平成24年6月から「横浜市犯罪被害者相談室」を開設し、犯罪被害にあわれた市民に対する相談支援を行っているほか、犯罪被害者等への理解が深まるよう、さまざまな啓発事業を実施しています。今後、より一層の関係機関の連携や支援の充実を図るため、「犯罪被害者等支援条例」の制定を推進すべきと訴えました。

市長は、被害者やご家族が抱える多様な問題の解決につながるよう、条例を制定している他自治体への調査や課題の整理などを今後進めていくと答弁しました。

市民
相談

お気軽に何でも
ご相談下さい

横浜市議員（緑区選出）

高橋まさはる

電話：929-5305 FAX：931-8798

<http://www.masaharu.info/>

〒226-0011 横浜市緑区中山町 320-5

